

事業概要

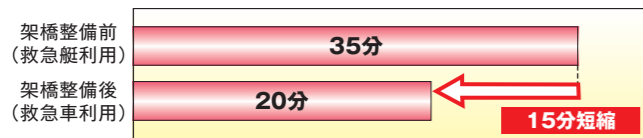
気仙沼湾に位置する大島は、本土との交通手段が船舶のみであり、住民の日常生活における利便性の向上や救急医療などの安全・安心の確保はもとより、当該圏域の観光振興及び地域間交流を図る観点からも架橋の整備が求められてきました。

さらに、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、大島地区の住民が長期間の孤立を余儀なくされるなどの甚大な被害を受けたことから、大島架橋の必要性が再認識され、災害時の緊急輸送路としての機能を向上させ、気仙沼市のまちづくり計画とも調整を図り、平成30年度の完成を目標に事業を推進します。

大島架橋による整備効果

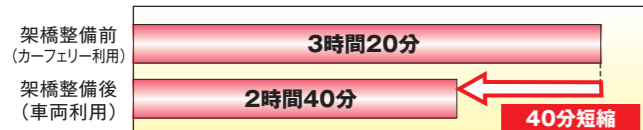
救急医療や災害時の安全・安心の確保

大島から気仙沼市立病院までの搬送時間



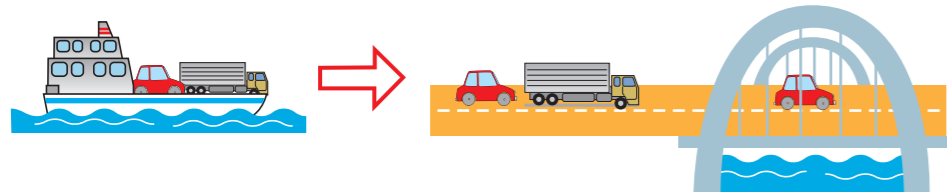
生活の利便性の向上

大島から遠方(仙台市)までの所要時間



物流コストの低減・観光客の増大

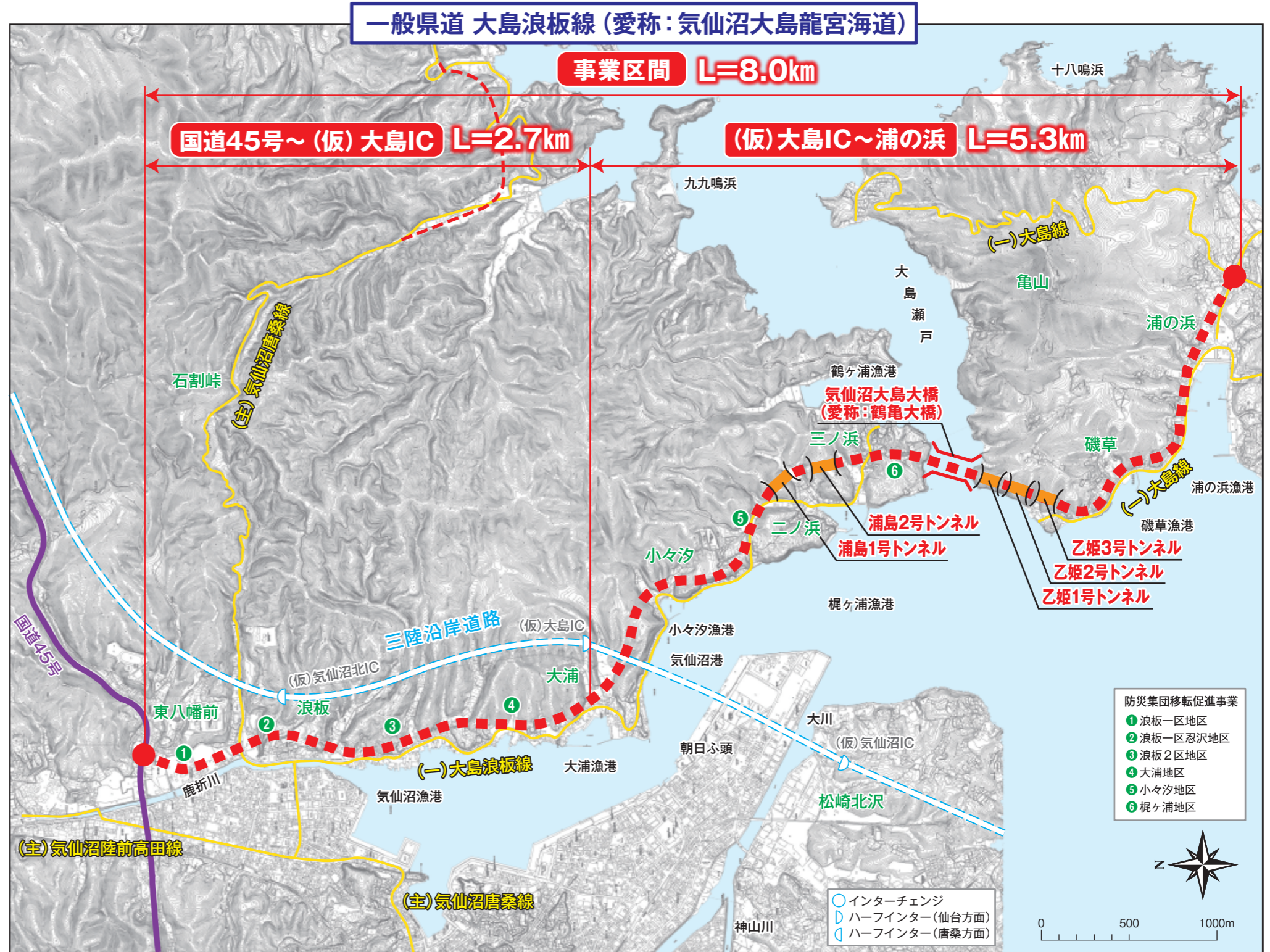
海上輸送からトラック陸送に変換して物流コスト低減及び観光客の増大



今後のスケジュール

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
調査設計									
用地補償									
道路工事									
トンネル工事									
架橋工事									

計画ルート



事業内容

事業区間	国道45号(東八幡前)～(仮)大島IC	(仮)大島IC～浦の浜
事業期間	平成23年度～平成30年度	
事業費	約220億円	
延長	L=約2.7km	L=約5.3km
車道幅員 ()内は全幅員	6.5(10.5)m	6.0(10.0)m トンネル 6.0(9.5)m 橋梁 6.0(9.5)m
道路規格	第3種第2級	第3種第3級
道路諸元 設計速度	60km/h	50km/h

標準横断面

